

## シラバス

科目名	時刻表を読み解こう		担当者名	金田一 栄子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	時刻表からの情報の取得方法を学び、それを活用できるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	時刻表からの情報の取得方法を学び、それを活用できるようになる。				
授業概要	実際に時刻表を使用し、鉄道、航空、バス、フェリーなどの情報を得てプランニングを行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1(時刻表の見方)	19		
	2	トクトク切符の概要	20		
	3	新幹線と新幹線の駅	21		
	4	北海道地方の路線	22		
	5	東北地方の路線	23		
	6	関東地方の路線	24		
	7	中部北陸地方の路線	25		
	8	関西地方の路線	26		
	9	四国・中国地方の路線	27		
	10	九州地方の路線	28		
	11	有料私鉄特急	29		
	12	定期観光バス	30		
	13	国内航空路線	31		
	14	海外航空路線	32		
	15	フェリー	33		
	16	プランニング	34		
	17	プランニング	35		
18	まとめ	36			
成績割合	テスト		学習FB方法	前期成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	主席率80% S90～10A80～89B70～79点C60～69点D59点 以下は不合格	
合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>20				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

## シラバス

科目名	思わず人に話したくなるピック アップニュース		担当者名	出口 寛子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	様々な異業種と関わり合って成り立っている旅行業の立場から時事問題を考える。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	持続可能な社会の一員として、観光業を支える職業人として、観光業を取り巻く状況について知り意見を発信する力を養う。				
授業概要	適宜、観光学テキストや業界新聞などを用いて旅行業界の現状を把握する。レポートやディスカッションを通して自分なりの意見をまとめ、発信する力を身につける。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション1	19	観光産業に関わるニュース11. / 演習11.	
	2	授業オリエンテーション2	20	観光産業に関わるニュース12. / 演習12.	
	3	授業オリエンテーション3	21	ディスカッション	
	4	観光産業に関わるニュース1. / 演習1.	22	観光産業に関わるニュース13. / 演習13.	
	5	観光産業に関わるニュース2. / 演習2.	23	観光産業に関わるニュース14. / 演習14.	
	6	ディスカッション	24	ディスカッション	
	7	観光産業に関わるニュース3. / 演習3.	25	観光産業に関わるニュース15. / 演習15.	
	8	観光産業に関わるニュース4. / 演習4.	26	観光産業に関わるニュース16. / 演習16.	
	9	ディスカッション	27	ディスカッション	
	10	観光産業に関わるニュース5. / 演習5.	28	観光産業に関わるニュース17. / 演習17.	
	11	観光産業に関わるニュース6. / 演習6.	29	観光産業に関わるニュース18. / 演習18.	
	12	ディスカッション	30	ディスカッション	
	13	観光産業に関わるニュース7. / 演習7.	31	観光産業に関わるニュース19. / 演習19.	
	14	観光産業に関わるニュース8. / 演習8.	32	観光産業に関わるニュース20. / 演習20.	
	15	ディスカッション	33	ディスカッション	
	16	観光産業に関わるニュース9. / 演習9.	34	授業まとめ1	
	17	観光産業に関わるニュース10. / 演習10.	35	授業まとめ2	
18	ディスカッション	36	授業まとめ3		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	前期・後期成績表にて送付
	学習態度・出席率		36%		
	レポート		64%	成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	大学では工芸デザインを専攻。約12年の旅行会社勤務にて営業、ツアー企画、添乗などを経験。資格:美術・工芸一種免許、総合旅行業務取扱管理者等。				

## シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	若林 健太郎、大下 莉奈	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自分の卒業ビジョンを作成し、基本的なビジネススキル(働くうえで必要な能力のこと)を身につけ、進級・卒業・就職という大きな流れを意識しそれぞれの夢をかなえる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1年次における、カリキュラムの理解とともに、卒業ビジョンを作成し、それに必要な学びをテクノスの中で見つけ、実践していく。				
授業概要					
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	後期の講義内容に関して・ビジネスマナー②確認	
	2	自己紹介(聞き手はリアクションを取る練習)	20	企業・仕事求める人材像・力、インターンシップ再告知	
	3	ビジネス用メールルールとメルアド作成	21	志望動機の説明➡考え、文章化する	
	4	職業意識(働くことの意義・意味を考える。GD社会人と学生の違い)	22	発表の仕方レクチャー➡志望動機の発表	
	5	社会人として必要なコミュニケーションとは?	23	就活スケジュール復習➡説明会参加の練習(マナー、質問の仕方)	
	6	第一印象の大切さ、挨拶・マナー①(GDマナーとルールの違いの復習、SNSの注意)	24	就活スケジュール復習➡説明会参加の練習(マナー、質問の仕方)	
	7	業界研究①(国内外業界・業種)・インターン説明	25	面接指導・面接の流れ	
	8	業界研究②(職業・職種・組織)	26	身だしなみ確認・立ち居振る舞い	
	9	就活スケジュール説明・就活とは?・求人の種類・選考の種類	27	履歴書書き方説明➡書く組 / オンライン面接練習組	
	10	自己分析・自分の強みと弱みについて知る、学チカ考える、就活サイト登録・インターン予約	28	求人票の見方➡履歴書書く組 / オンライン面接練習組	
	11	会社訪問の方法 / 必要な資格や知識の確認と説明	29	トークセッション(OBOGを招いて:就活生対象)	
	12	自己分析ワーク➡自己PR作成	30	ES説明、履歴書の提出書仕方 / 面接練習	
	13	業界or職種研究&自己PR発表①	31	GDの説明と練習	
	14	業界or職種研究&自己PR発表②	32	GDの練習	
	15	休み明け:業界or職種研究&自己PR発表②	33	面接練習	
	16	休み明け:業界or職種研究&自己PR発表②	34	面接練習	
	17	自己PR動画の撮影	35	確認テスト(履歴書)・まとめ1	
18	前期 振り返りと後期の課題発見	36	履歴書の注意点・まとめ2		
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	東京エアトラベル・ホテル専門学校卒業、都内ラグジュアリーホテルの料飲部門での豊富な勤務経験を持つ。				

## シラバス

科目名	今すぐ旅にでたくなる国内観光地理		担当者名	鈴木 明美	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	日本各地の観光資源を詳細に学び、全国の観光知識を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国家試験(国内旅行業務取扱管理者試験)合格を目指す。				
授業概要	日本各地の観光資源を県別に調べ。その結果を白地図に記入する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	白地図に都道府県名、県庁所在地名を記入。(北部)	19	富山県の観光資源調べ。白地図に記入	
	2	白地図に都道府県名、県庁所在地名を記入。(南部)	20	石川県の観光資源調べ。白地図に記入	
	3	北海道の観光資源調べ1。白地図に記入	21	福井県の観光資源調べ。白地図に記入	
	4	北海道の観光資源調べ2。白地図に記入	22	山梨県の観光資源調べ。白地図に記入	
	5	青森県の観光資源調べ。白地図に記入	23	長野県の観光資源調べ。白地図に記入	
	6	岩手県の観光資源調べ。白地図に記入	24	岐阜県の観光資源調べ。白地図に記入	
	7	宮城県の観光資源調べ。白地図に記入	25	静岡県の観光資源調べ。白地図に記入	
	8	秋田県の観光資源調べ。白地図に記入	26	愛知県の観光資源調べ。白地図に記入	
	9	山形県の観光資源調べ。白地図に記入	27	三重県の観光資源調べ。白地図に記入	
	10	福島県の観光資源調べ。白地図に記入	28	滋賀県の観光資源調べ。白地図に記入	
	11	茨城県の観光資源調べ。白地図に記入	29	京都府の観光資源調べ。白地図に記入	
	12	栃木県の観光資源調べ。白地図に記入	30	大阪府の観光資源調べ。白地図に記入	
	13	群馬県の観光資源調べ。白地図に記入	31	兵庫県、奈良県の観光資源調べ。白地図に記入	
	14	埼玉県の観光資源調べ。白地図に記入	32	和歌山県、鳥取県の観光資源調べ。白地図に記入	
	15	千葉県の観光資源調べ。白地図に記入	33	島根県、岡山県の観光資源調べ。白地図に記入	
	16	東京都の観光資源調べ。白地図に記入	34	広島県、山口県の観光資源調べ。白地図に記入	
	17	神奈川県観光資源調べ。白地図に記入	35	四国4県の観光資源調べ。白地図に記入	
	18	新潟県の観光資源調べ。白地図に記入	36	九州各県の観光資源調べ。白地図に記入	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	期末試験の返却で行う。	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	20%	成績評価	国家試験の結果、期末試験の結果などで総合的に評価する。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	旅行会社でおよそ40数年程勤務。海外旅行の企画、手配、仕入、見積り、精算業務、社内研修、経営企画、役員秘書を経験しました。				

## シラバス

科目名	アマデウス実習 I		担当者名	小泉 公仁子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウス システム検定 (AMADEUS RESERVATION FUNDAMENTALS)」合格を目指す。				
授業概要	「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作の学習後、練習問題によって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。				
授業 計画 画 表		授業内容		授業内容	
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識	19	サービスハブの活用法	
	2	各種コード検索① 世界地図	20	旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは	
	3	各種コード検索② 主要航空会社	21	SSR 各種メール HELPページ	
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス	22	SSR 連絡先 CTCE CTCM	
	5	空席照会(オプション・ショートカット)	23	SSR フリークエントフライヤープログラム	
	6	空席照会からの予約(ショートセル)	24	SSR シートリクエスト GGエントリー アンシラリーサービス(グラフィックでのサービスカタログ表示)	
	7	直接予約(ロングセル) ステータスコードとは フライトのキャンセル	25	REMARKS	
	8	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正	26	フライトインフォメーション(直行・経由便) MCT	
	9	連絡先 発券状況 送信元 完了	27	ヒストリー アンシラリーサービス(PNRからのサービスカタログ表示)	
	10	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し	28	PNR作成 基礎知識総復習	
	11	PNR作成練習	29	後期末試験	
	12	乗継便の予約・変更 マリードセグメント	30	試験返却 解説 検定対策①	
	13	ARNK オープンセグメント	31	検定対策②	
	14	エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流れ	32	検定対策③	
	15	前期末試験対策	33	検定実施(AMADEUS RESERVATION FUNDAMENTALS)	
	16	前期末試験	34	総まとめ	
	17	試験返却 解説	35	総まとめ	
18	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正	36	総まとめ		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期末試験実施後。試験返却をもって	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師				

## シラバス

科目名	英会話 I		担当者名	スラヤ タスノバ, P.Ripley	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。				
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A	
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B	
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C	
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D	
	5	Speaking Test	23	Speaking Test	
	6	Speaking Test	24	Speaking Test	
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A	
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B	
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C	
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D	
	11	Speaking Test	29	Speaking Test	
	12	Speaking Test	30	Speaking Test	
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A	
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B	
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C	
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D	
	17	Speaking Test	35	Speaking Test	
18	Speaking Test	36	Speaking Test		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>50%				
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.				

## シラバス

科目名	基礎ゼミⅠB		担当者名	大下 莉奈	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	後期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	移動目的で利用されることの多い空港の新たなサービスの価値を創造する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界・観光業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。				
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ゼミの趣旨について	19		
	2	チームビルディング	20		
	3	空港を利用するってどんな時??	21		
	4	その他の空港との違いは??	22		
	5	旅行における、空港の価値って??	23		
	6	外国の空港は??	24		
	7	特別な空港のSVCを調べよう	25		
	8	特別な空港のSVCを調べよう	26		
	9	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットなど)	27		
	10	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットなど)	28		
	11	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	29		
	12	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	30		
	13	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	31		
	14	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	32		
	15	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	33		
	16	ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える	34		
	17	発表に向けた練習を行う	35		
18	発表に向けた練習を行う	36			
成 績 割 合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	航空会社客室乗務員の勤務経験のある教員が主に担当				

## シラバス

科目名	基礎ゼミⅠA		担当者名	大下 莉奈	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	移動目的で利用されることの多い空港の新たなサービスの価値を創造する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界・観光業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。				
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ゼミの趣旨について	19		
	2	チームビルディング	20		
	3	空港を利用するってどんな時??	21		
	4	その他の空港との違いは??	22		
	5	旅行における、空港の価値って??	23		
	6	外国の空港は??	24		
	7	特別な空港のSVCを調べよう	25		
	8	特別な空港のSVCを調べよう	26		
	9	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットイングなど)	27		
	10	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットイングなど)	28		
	11	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	29		
	12	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	30		
	13	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	31		
	14	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	32		
	15	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	33		
	16	ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える	34		
	17	発表に向けた練習、振り返り	35		
18	発表に向けた練習、振り返り	36			
成 績 割 合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	航空会社客室乗務員の勤務経験のある教員が主に担当				



## シラバス

科目名	旅行業約款 I		担当者名	鈴木 明美	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	旅行業約款を詳細に学び、正答率を国家試験合格レベルまで引き上げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国家試験(国内旅行業務取扱管理者試験)合格を目指す。				
授業概要	旅行業約款の条文を詳細に学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	約款とは何か。	19	旅行相談契約の部ー1	
	2	国家試験の過去問にチャレンジ、試験の難易度を知る。	20	旅行相談契約の部ー2	
	3	募集型企画旅行契約の部ー1 第1条～第3条	21	標準旅行業契約の部まとめー1	
	4	募集型企画旅行契約の部ー2 第4条～第8条	22	標準旅行業契約の部まとめー2	
	5	募集型企画旅行契約の部ー3 第9条～第11条	23	標準旅行業契約の部まとめー3	
	6	募集型企画旅行契約の部ー4 第12条～第15条	24	標準旅行業契約の部まとめー4	
	7	募集型企画旅行契約の部ー5 第16条～第20条	25	国内旅行業務取扱管理者試験過去問(約款)の研究ー1	
	8	募集型企画旅行契約の部ー6 第21条～第23条	26	国内旅行業務取扱管理者試験過去問(約款)の研究ー2	
	9	募集型企画旅行契約の部ー7 第24条～第27条	27	国内旅行業務取扱管理者試験過去問(約款)の研究ー3	
	10	募集型企画旅行契約の部ー8 第28条～第31条	28	国内旅行業務取扱管理者試験過去問(約款)の研究ー4	
	11	受注型企画旅行契約の部ー1 第1条～第8条	29	国内旅行業務取扱管理者試験過去問(約款)の研究ー5	
	12	受注型企画旅行契約の部ー2 第9条～16条	30	国内旅行業務取扱管理者試験過去問(約款)の研究ー6	
	13	受注型企画旅行契約の部ー3 第17条～第23条	31	国内旅行業務取扱管理者試験の練習問題ー1	
	14	受注型企画旅行契約の部ー4 第24条～第32条	32	国内旅行業務取扱管理者試験の練習問題ー2	
	15	特別補償規程ー1	33	国内旅行業務取扱管理者試験の練習問題ー3	
	16	特別補償規程ー2	34	国内旅行業務取扱管理者試験の練習問題ー4	
	17	手配旅行契約の部ー1	35	標準旅行業約款総復習	
18	手配旅行契約の部ー2	36	期末試験		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	期末試験の返却、解答で行う。	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価	国家試験の結果、期末試験の結果等を総合的に評価。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	旅行会社でおよそ40数年程勤務。海外旅行の企画、仕入、販売、見積もり、精算業務を行い、現場を離れる仕事としては社内研修、経営企画、役員秘書を経験				

## シラバス

科目名	旅行業法 I		担当者名	相原 雄次郎	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	国内旅行業務取扱管理者試験合格を目標とする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	合格者を増加させる				
授業概要	①教科書を中心にしての展開 ②速習問題を区切りのいいところで実施する ③過去問を含めた実力問題を実施する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	大1章 総則 P1-16	19		
	2	P16-23	20		
	3	第2章 旅行業等 P24-30	21		
	4	P30-34	22		
	5	P35-41	23		
	6	P42-51	24		
	7	p52-63	25		
	8	P64-73	26		
	9	P74-85	27		
	10	p86-91	28		
	11	p92-99	29		
	12	P100-112	30		
	13	P113-122	31		
	14		32		
	15		33		
	16		34		
	17		35		
18		36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	①速習問題を活用して復習する S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D: 不合格 59以下	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	中堅旅行会社の40数年にわたる勤務経験を生かしての授業を心がける				

## シラバス

科目名	運送・宿泊約款 I		担当者名	金田一 栄子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	旅行業・運輸業界で仕事をする際の実務的なルールの仕組みを身につけさせる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。法律・規則を理解した行動ができるようになる。				
授業概要	講義、演習形式で授業を進めていく。 7月からは、すべての約款を通しての出題に沿った問題演習で合格を目指す。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	国内旅行業務管理者試験の概要	20		
	3	総則・旅客運送(航空券)	21		
	4	旅客運送(運賃および料金)	22		
	5	旅客運送(手荷物・責任)	23		
	6	貸切自動車運送約款	24		
	7	貸切自動車運送約款	25		
	8	フェリー運送約款	26		
	9	フェリー運送約款	27		
	10	宿泊約款	28		
	11	宿泊約款	29		
	12	宿泊料金	30		
	13	国内航空運賃・料金	31		
	14	フェリー/貸し切りバス運賃料金	32		
	15	フェリー/貸し切りバス運賃料金	33		
	16	国内管理者地策試験演習	34		
	17	国内管理者地策試験演習	35		
18	確認テスト・まとめ1	36			
成 績 割 合	テスト	50%	学習FB方法	前期成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。				

## シラバス

科目名	国内運賃・料金 I		担当者名	金田一 栄子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	旅行業・運輸業界で仕事をする際の実務的なルールの仕組みを身につけると同時に国内旅行業務管理者対策の一助とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	JR運賃・料金、国内航空運賃、貸切バス運賃・料金、フェリー運賃・料金、宿泊料金など旅行を取り扱う上で必要な運賃料金についてルールを押さえて算出できるようになる。 国内旅行業務取扱管理者合格を目指す。				
授業概要	講義、演習形式で授業を進めていく。 また出題に沿った問題演習を行い、合格を目指す。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	旅客営業規則の概要	20		
	3	乗車券類販売の概要	21		
	4	運賃(運賃計算の原則)	22		
	5	運賃(普通乗車券、特例)	23		
	6	運賃(効力、割引)	24		
	7	運賃問題演習	25		
	8	料金(料金計算)	26		
	9	料金(料金計算)	27		
	10	料金(乗り継ぎ割引)	28		
	11	料金(会社をまたぐ場合)	29		
	12	料金(乗り継ぎ割引)	30		
	13	料金演習	31		
	14	変更・取り消し・払い戻し	32		
	15	確認テスト・まとめ1	33		
	16	団体乗車券取扱	34		
	17	団体乗車券取扱	35		
18	期末テスト	36			
成 績 割 合	テスト	60%	学習FB方法	前期成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

## シラバス

科目名	観光英語		担当者名	松井 佳子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自信をもって海外旅行、国内で英語を使えるようする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	観光英検3級取得				
授業概要	観光英検は英語力に加え、国外・国内の地理知識も必須です。海外旅行に必要な単語・文章を、リスニング、リーディング、スピーキングの角度から学んでいきます。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	授業目標、内容、観光英検、小テスト、課題、成績のつけ方の説明	19	3級単語テスト Reading & Listening section	
	2	Travel	20	観光英検テスト終了後、 Listening & 会話を重視した内容とする	
	3	小テスト 観光業界の様々な職業を学ぶ	21	小テスト Immigration customs	
	4	小テスト Airline counter での check in Flight attendantの仕事	22	小テスト San Franciscoをめぐる	
	5	小テスト Immigration Customs	23	小テスト 食事の注文	
	6	小テスト 到着時の空港routine Take a bus from the airport	24	小テスト At the fast food	
	7	小テスト Hotel Check in B&B	25	小テスト お土産を選ぶ	
	8	小テスト Breakfast	26	小テスト 靴屋での会話	
	9	小テスト Money exchange Tourを申し込む	27	小テスト 道案内	
	10	小テスト Shopping Souvenirs and omivage	28	小テスト getting to a Hotel	
	11	小テスト Train Bus Plane Buy a ticket	29	小テスト 公共交通機関	
	12	小テスト Baggage missing Problems in the hotel room	30	小テスト 電車の切符を買う	
	13	小テスト 世界の首都 観光名所	31	Hotel reservation	
	14	お祭り 伝統的なものや文化の英語表現	32	小テスト Hotel service	
	15	3級単語テスト Reading & Listening section	33	小テスト Lost baggage 機内放送	
	16	3級単語テスト Reading & Listening section	34	学年末テストに向けての確認作業	
	17	前期のまとめ	35		
18	3級単語テスト Reading & Listening section	36	成績発表 1年の総復習		
成績割合	テスト	試験科目数(7科目) 各25点	学習FB方法	前期、後期 成績表を配布	
	学習態度・出席率	出席率(80%)以上 25点			
	レポート	レポート(2回) 各25点	成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A89-80点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>80% A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>80%				
講師プロフィール	日本航空国際客室乗員部7年勤務 本校にて講師 15年				

## シラバス

科目名	ホスピタリティサービス		担当者名	池亀 満枝	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。				
授業概要	人間心理の知識、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の習得、社会人として活躍するための準備を座学形式で行う。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	謙談語 I、謙談語 II	
	2	ホスピタリティとは、サービスとホスピタリティ	20	使い分け・誤用	
	3	マズローの欲求段階説	21	相手に配慮して伝える(依頼、断りの丁寧な伝え方)	
	4	顧客満足とホスピタリティ	22	相手に配慮して伝える(お詫びの丁寧な伝え方)	
	5	ジョハリの窓	23	違和感を与える表現・信頼感を損ねる口癖	
	6	ストローク	24	好感の持てる話し方	
	7	メラビアンの法則	25	感じの良い聴き方	
	8	人間関係の基本、明るい挨拶・さわやかな返事	26	会話を弾ませるテーマ選び	
	9	挨拶ことば	27	マナーとエチケットの違い、礼儀作法の意味、プロトコールとは	
	10	おしゃれと身だしなみの違い、制服の効果	28	冠婚葬祭とは、冠婚葬祭の意味と行事	
	11	身だしなみワークシート	29	慶事のマナー	
	12	いきいきとした豊かな表情、表情訓練	30	慶事のマナー	
	13	目から入る言葉＝態度	31	祝儀・不祝儀袋	
	14	立ち居振る舞い、基本動作、応用動作	32	弔事のマナー	
	15	敬語の種類	33	食事のマナー	
	16	丁寧語・美化語・改まり語	34	試験	
	17	試験	35	試験解説	
18	尊敬語	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	課題、レポート	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>10 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在 に至る。				

## シラバス

科目名	話し方		担当者名	古閑 三恵	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	「言葉つかい」は「心つかい」 話し上手である必要はありません。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	接客業に必要な聞き取りやすい声を作る。 人前で話す事が楽しくなるように。 正しい口の開け方(姿勢・癖のチェック) お腹からの力強い声 腹式呼吸 発声練習 テーマでの発表 敬語で美しい日本語を話せるように 詩、台本を読んで自分を自由に表現する、自分を解放する。 スピーチ原稿の構成の仕方				
授業概要	腹式呼吸 発声練習 テーマでの発表 敬語で美しい日本語を話せるように 詩、台本を読んで自分を自由に表現する、自分を解放する。 スピーチ原稿の構成の仕方				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	①自己紹介(出身地・今まで頑張ってきた事、特技・目指す仕事) ※自己紹介レポート1枚提出 ②授業の進め方・注意点	19	①「人を動かすスピーチ」ステイプジョブズなど紹介 ②パワースピーチについて	
	2	① ストレッチ ② 複式呼吸 ③50音発声練習	20	①スピーチ「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」 ※レポート提出	
	3	課題提出	21	①スピーチ「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」 ※レポート提出	
	4	① ストレッチ ②腹式呼吸 ③50音発声練習 ④スピーチ文章の組み立て方 ※スピーチ前の注意点	22	①アナウンス原稿 を読む	
	5	①スピーチ「好きな映画について」良いところ癖などをチェック※スピーチ原稿提出	23	①「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」 ※レポート提出	
	6	①スピーチ「好きな映画について」 ※スピーチ原稿提出	24	①「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」※レポート提出	
	7	①スピーチ「好きな映画について」 ※スピーチ原稿提出	25	① 基本敬語	
	8	①発声練習 ②他己紹介	26	①敬語テスト	
	9	①発声練習 ②他己紹介	27	①就活に向けて自己PR練習	
	10	①スピーチ「今まで旅した中でおすすめの場所」について ※スピーチ原稿提出	28	①自己PR 面接の練習	
	11	①スピーチ「今まで旅した中でおすすめの場所」について ※スピーチ原稿提出	29	①自己PR 面接の練習	
	12	スピーチ「今まで旅した中でおすすめの場所」について ※スピーチ原稿提出	30	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	13	①朗読劇 広島・長崎「この子たちの夏」を読む ※夏休み宿題 美術館に行く	31	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	14	①発声練習 ②美術館発表 ※レポート提出	32	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	15	①美術館発表 ※レポート提出	33	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	16	①美術館発表 ※レポート提出 期末試験	34	まとめ 最後に伝えたい事	
	17	①美術館発表 ※レポート提出	35	発表予備	
18	「自分が一番ワクワクする事」について 1分間スピーチ	36	発表予備		
成 績 割 合	テスト	スピーチ 40%	学 習 F B 方 法	成績評価 出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	俳優 熊本県出身。劇団四季附属演劇研究卒業後、作家井上ひさしの劇団「こまつ座」、演出家木村光一の「地人会」の舞台で全国・海外公演。現在は事務所に所属し、活動している。 RKKラジオ「古閑三恵の今は昔」パーソナリティー。三池崇史監督・映画「女国衆一揆」主演。他ナレーション・CM・TV。				

## シラバス

科目名	パソコン実習 I		担当者名	千葉 輝子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格相当のスキルを身に付ける。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する)</li> <li>・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)</li> <li>・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける</li> <li>・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける</li> </ul>				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	図の挿入/図形の描画	
	2	ガイダンス	20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	ガイダンス	21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	科目ガイダンス 各自のPC環境整備	22	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	5	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本	23	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	6	文字入力の基本	24	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	7	ビジネス文書の書き方(ルールの説明)	25	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	日商PC検定文書作成検定 試験問題3	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	日商PC検定文書作成検定 試験問題4	
	10	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	28	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	11	ビジネスメール課題	29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	12	表作成の基本	30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)	31	後期復習問題	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)	32	期末試験	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)	33	期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	ビジネス文書課題(表のある文書)	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の出入庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				



## シラバス

科目名	Reading Program		担当者名	若林 健太郎	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	ビジョン実現に向けた、個別面談。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	様々なモノ、コトに対して主体的に探究ができる状態				
授業概要	個別面談				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ビジネスにおける雑談	19	相手の言葉に耳を傾ける	
	2	現代のコミュニケーション力	20	質問をする	
	3	働く環境	21	相手に合わせるには	
	4	感じ方のギャップ	22	タイプ分類する	
	5	コミュニケーションに対する姿勢	23	話好きでない場合	
	6	ビジネスパーソンに求められる力、考え方	24	話好きの場合	
	7	マイナス・ゼロ・プラスの雑談	25	ビジネスに繋げる	
	8	プラスの雑談にするための5つのステップ	26	スムーズに本題に入る	
	9	ファーストコンタクト	27	本題を通じて	
	10	最初の一言	28	ケースで学ぶ雑談	
	11	自分から発信する	29	プレゼンテーション	
	12	自分を伝えて付き合いを深める	30	後期のまとめ	
	13	直接的に伝える	31	一年間の振り返り	
	14	間接的に伝える	32	社会人になる心得を発表	
	15	前期まとめ	33	まとめ	
	16	発信力を高めるには	34		
	17	相手から聞き出す	35		
	18	聞く力を身につける	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格 40%、10%、40%	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	東京エアトラベル・ホテル専門学校卒業、 都内ラグジュアリーホテルの料飲部門での豊富な勤務経験を持つ。				

## シラバス

科目名	ニューツーリズム入門		担当者名	相原 雄次郎	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	1. ニューツーリズムとはなにか？ 基本的な知識を習得 2. SDGSとの関連 3. NTの企画造成を実施				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 企業のSDGSに則した企画・立案が可能となること				
授業概要	1. 資料を中心として具体例をあげ、具体的に理解を深める				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ニューツーリズムとは	19		
	2	p5-7	20		
	3	p8-11	21		
	4	p11-13	22		
	5	産業ツーリズムとは	23		
	6	p4-9	24		
	7	p10-13	25		
	8	p14-18	26		
	9	グリーンツーリズム	27		
	10	p4-7	28		
	11	p8-10	29		
	12	p11-13	30		
	13	エコツーリズム	31		
	14	p4-7	32		
	15	ヘルスツーリズム	33		
	16	前期試験	34		
	17	p4-8	35		
18		36			
成績割合	テスト	40	学習FB方法	復習宿題の実施	
	学習態度・出席率	40			
	レポート	20	成績評価	授業態度も重要視	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	新しい分野を実験を活かして授業				

## シラバス

科目名	今すぐ旅に出たくなる海外地理Ⅱ		担当者名	相原 雄次郎	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	1. 総合管理者試験受験者に対しては試験傾向を中心とした実践的な授業(前期) 2. 総合的な知識を習得させる授業(後期)				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 総合管理者試験合格を目指す 2. 社会に出た場合において恥ずかしくない知識 3. 総合管理者試験受験者には「過去問を中心とした実力テスト」実施				
授業概要	1. 教科書を中心とし、地図も活用する 2. 国ごとの「復習宿題」を実施する				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	英国	19		
	2	英国	20		
	3	フランス	21		
	4	フランス	22		
	5	ドイツ	23		
	6	ドイツ	24		
	7	イタリア	25		
	8	イタリア	26		
	9	スペイン・ポルトガル	27		
	10	スイス	28		
	11	オランダ・ベルギー・トルコ	29		
	12	タイ	30		
	13	シンガポール・マレーシア	31		
	14	インドネシア・ミャンマー	32		
	15	ベトナム・カンボジア	33		
	16	中間試験	34		
	17	台湾・香港	35		
18		36			
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	復習宿題の実施	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%	成績評価	授業態度も重要視	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>なし				
講師プロフィール	今までの実績に基づいた授業。				

## シラバス

科目名	業界時事Ⅱ		担当者名	出口 寛子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	様々な異業種と関わり合って成り立っている旅行業の立場から時事問題を考える。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	持続可能な社会の一員として、観光業を支える職業人として、観光業を取り巻く状況について知り意見を発信する力を養う。				
授業概要	適宜、観光学テキストや業界新聞などを用いて旅行業界の現状を把握する。レポートやディスカッションを通して自分なりの意見をまとめ、発信する力を身につける。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション1	19	観光産業に関わるニュース11. / 演習11.	
	2	授業オリエンテーション2	20	観光産業に関わるニュース12. / 演習12.	
	3	授業オリエンテーション3	21	ディスカッション	
	4	観光産業に関わるニュース1. / 演習1.	22	観光産業に関わるニュース13. / 演習13.	
	5	観光産業に関わるニュース2. / 演習2.	23	観光産業に関わるニュース14. / 演習14.	
	6	ディスカッション	24	ディスカッション	
	7	観光産業に関わるニュース3. / 演習3.	25	観光産業に関わるニュース15. / 演習15.	
	8	観光産業に関わるニュース4. / 演習4.	26	観光産業に関わるニュース16. / 演習16.	
	9	ディスカッション	27	ディスカッション	
	10	観光産業に関わるニュース5. / 演習5.	28	観光産業に関わるニュース17. / 演習17.	
	11	観光産業に関わるニュース6. / 演習6.	29	観光産業に関わるニュース18. / 演習18.	
	12	ディスカッション	30	ディスカッション	
	13	観光産業に関わるニュース7. / 演習7.	31	観光産業に関わるニュース19. / 演習19.	
	14	観光産業に関わるニュース8. / 演習8.	32	観光産業に関わるニュース20. / 演習20.	
	15	ディスカッション	33	ディスカッション	
	16	観光産業に関わるニュース9. / 演習9.	34	授業まとめ1	
	17	観光産業に関わるニュース10. / 演習10.	35	授業まとめ2	
18	ディスカッション	36	授業まとめ3		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	前期・後期成績表にて送付
	学習態度・出席率		36%		
	レポート		64%	成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	大学では工芸デザインを専攻。約12年の旅行会社勤務にて営業、ツアー企画、添乗などを経験。資格:美術・工芸一種免許、総合旅行業務取扱管理者等。				

## シラバス

科目名	インバウンド概論Ⅱ		担当者名	相原 雄次郎	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	1. インバウンドはなぜ必要なのか？を理解 2. インバウンド企画を立案するための必要な考え方を習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会に出て企画立案できる人材育成				
授業概要	資料を利用し、それぞれの分野でインバウンドを分析し理解する				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	インバウンドとは。 観光学教材利用	19		
	2	インバウンドとは	20		
	3	インバウンドの推移と実態把握	21		
	4	同上	22		
	5	インバウンドの消費額理解・把握	23		
	6	同上	24		
	7	日本のインバウンドの歴史	25		
	8	同上	26		
	9	ムスリム旅行者への理解	27		
	10	ベジタリアン旅行者への理解	28		
	11	インバウンド訪日地域	29		
	12	同上	30		
	13	インバウンド誘致成功例	31		
	14	インバウンド 国別訪日概況	32		
	15	中国人の動向	33		
	16	台湾人・韓国人の動向	34		
	17	前期試験	35		
18	インバウンドと観光まちづくり	36			
成績割合	テスト	40	学習FB方法	復習宿題を実施	
	学習態度・出席率	40			
	レポート	20	成績評価	授業態度も重要視	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	経験を活かした授業				

シラバス

科目名	プレゼンテーション技法		担当者名	中川 文康	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	基本に忠実なプレゼンテーション技法の修得を通じて、コミュニケーションの質を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プレゼン資料の作成から発表までを体系づけて学び、理想的なプレゼンテーションを実践できるように指導する。				
授業概要	①コミュニケーション強化の個人目標設定。 ②プレゼンテーションの本質を理解する。 ③資料作成技術(PPT)の修得。 ④話し方・表現など技術を学ぶ。				
授業計画表	授業内容		授業内容	授業内容	
	1	・学習の狙いの確認 ・年間学習スケジュールの周知徹底 ・目標設定の重要性	19	個別の課題設定と目標設定	
	2	予め配布する「個人目標シート」への記載内容を発表し、講師&学生間で共有する ★「個人目標シート」は【課題提出物1】	20	設定演習課題への個別挑戦期間	
	3	予め配布する「自己紹介シート」に基づき発表。発表は全員。要約技術と時間管理の重要性の認識(演習発表形式)	21	設定演習課題への個別挑戦期間	
	4	予め配布する「自己紹介シート」に基づき発表。発表は全員。要約技術と時間管理の重要性の認識(演習発表形式)	22	設定演習課題への個別挑戦期間	
	5	プレゼンの本質を解説、イメージと認識の統一を図ると共にプレゼンへの取組姿勢を確認	23	設定演習課題への個別挑戦期間	
	6	プレゼンに臨む姿勢や心構え、「聞き手中心」の話し方に関わる実践演習	24	設定演習課題への個別挑戦期間	
	7	学生一人一人に体験させる(計2回に分けて全員が体	25	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	8	プレゼンに臨む姿勢や心構え、聞き手中心の話し方に関わる実践演習	26	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	9	学生一人一人に体験させる。(時間管理との複合意識の プレゼン資料の作成にあたり、準備すべき事柄や内容 の確認と要点の解説。 資料作成時の留意点	27	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	10	資料作成にあたり、最重要点である視覚印象を活かす 為の留意点、グラフ、写真、 イラストの活用法と、「一 目」の認識について	28	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	11	プレゼン実施の際の「話し手」の留意点、時間管理、話 し方、声、抑揚、スピード、 間、その他ジェスチャー等の 留意点	29	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	12	総合復習を通じて要点の再整理 ★課題プレゼン資料作成の為の指針・説明	30	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	13	・表紙について(講義と作成)	31	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	14	・目次について(講義と作成)	32	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	15	・キーメッセージについて(講義と作成)	33	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	16	・グラフとメッセージについて(講義と作成)	34	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	17	作成資料に対する改良個別指導	35	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
18	作成資料に対する改良個別指導	36	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)		
成績割合	テスト	直接的なテストは実施せず。課題提出物の期日内提出で80%(80点)①10点 ②10点 ③60点	学習FB方法	・学生の演習課題提出、及び講師のコメント配信は対面及びTeams課題の両面で対応することを原則・提出物の締切は絶対厳守	
	学習態度・出席率	出席率 :10% (10点)学習態度:10% (10点)		成績評価	プレゼン技術の本質理解を判断する。 S+90,A+80,B+70,C+60,D-59
	レポート	必要に応じて調整あり			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70%:基本の理解、基本の動作で対応する R<実働実践型学習>50%:基本の応用活用と創造力の発揮 A<主体的参加型学習>50%:目標を持って自らが楽しんで挑戦する意欲と発信力 G<海外体感型学習>25%:資料検索などで言語選定と情報の取捨選択及び理解				
講師プロフィール	物流企業で11年間海外勤務。役員として企業内大学を設立、学長として人材育成・社員教育に注力。プレゼン及びコミュニケーション技術の企業研修講師として10年のキャリアを活かし、学ぶ楽しさとモチベーションの継続させ、プレゼン発表を通じて人前で自信をもって話すことができるように指導。JAJA元講師。社員教育コンサルタント。全日本弓道連盟会員。俳人協会会員。				

## シラバス

科目名	異文化コミュニケーション		担当者名	富手 貴子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	1. 異なる文化的背景や価値観を持つ他者を知り、異文化への興味・関心を広げ、多様な背景を持つ人々と良好なコミュニケーションを図るための能力やスキル、寛容な態度を養う。2. 国際社会や国際ビジネス、訪日外国人に目を向け、これからの多文化共生社会における専門的職業人としての素養と自覚を高める。3. 自分自身がこれまで意識していなかった文化や価値観を意識化、また相対化し、自文化や自己のアイデンティティを高めるとともに、自己表現を通じて、社会的な自立に向けたコミュニケーション能力を養成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 異文化や国際社会に興味・関心をもって、寛容な心と態度で柔軟に対応するとともに、自分の意見を発信できるコミュニケーション力を身につけている。2. 異文化コミュニケーションや訪日外国客接遇の基礎的な知識を習得し、それらの意義を理解し、自身のキャリアへの活かし方を考えることができる。3. 他者や他文化を知ることを通して、自己や自文化を見つめ直し、新たな価値観と拡大した視野を得て、今後の人生において自分が社会にどのよう貢献できるかを考えることができる。				
授業概要	1. 国家間や人種の違いだけでなく世代や立場の違いなどを文化差と捉え、異文化摩擦の原因や対処法の理論を理解するのみならず、体験的に身に付けていくことができるように、具体的な異文化接触場面の事例を取り上げ、ディスカッションやアクティビティなどの活動を行う。この活動の過程で、異文化トレーニングの手法や、効果的なコミュニケーションの方法を学び、実践する。2. 国際的な話題(国内外の動向や社会問題、経済やビジネス、旅行・観光やポップカルチャーなど)に幅広く触れ、国際的なコミュニケーション文化を知るとともに、国際社会や国際ビジネス、訪日外国人への興味・関心を高める。3. 外客接遇の基礎知識を一部に取り入れ、職業観の醸成と、就職後のより満足度の高い接遇につなげる。				
授業 計画 表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション①	19	訪日外国人旅行者接遇の基礎②	
	2	オリエンテーション②	20	訪日外国人旅行者接遇の基礎③	
	3	異文化コミュニケーションとは①	21	異文化コミュニケーション・トレーニング①	
	4	異文化コミュニケーションとは②	22	異文化コミュニケーション・トレーニング②	
	5	異文化コミュニケーションとは③	23	アイデンティティ①	
	6	異文化コミュニケーションとは④	24	アイデンティティ②	
	7	コミュニケーション・スタイル①	25	グローバル・コミュニケーション①	
	8	コミュニケーション・スタイル②	26	グローバル・コミュニケーション②	
	9	ものの見方を広げる①	27	多文化共生ワーク②	
	10	ものの見方を広げる②	28	国民文化①	
	11	異文化コミュニケーション・スキル①	29	国民文化②	
	12	異文化コミュニケーション・スキル②	30	国民文化③	
	13	多文化共生ワーク①	31	日本の話題・世界の話題①	
	14	言語・非言語コミュニケーション①	32	日本の話題・世界の話題②	
	15	言語・非言語コミュニケーション②	33	日本の話題・世界の話題③	
	16	発表準備	34	まとめ	
	17	発表&フィードバック	35	期末試験	
18	訪日外国人旅行者接遇の基礎①	36	振り返り		
成績割合	テスト	40(テスト・小テスト・発表案)	学習FB方法	授業への出席、ワークやアクティビティの参加度、態度、提出物、テスト、小テスト、発表等で総合的に評価する。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30(レポート・振り返り等・提出物)	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>80				
講師プロフィール	前職ではグローバルIT企業のコーポレート戦略総括本部にてインターナル・コミュニケーション、前々職では大手日系IT企業にて全社グローバル人材育成施策の企画・運営、研修設計・開発を担当。20代前半から海外に計15年間滞在。オーストラリアではツアーガイドとしてトップセールス、カナダでは現地ホテル勤務の傍らで、日系企業の現地新規事業企画・立ち上げを単独で行う。プライベートでは、学生時代から多数の国際交流ボランティア活動、中国で3か月間のインターンシップ、1年間の世界一周ひとり旅経験あり。カナダの高校卒業単位取得時には、主席卒業でカナダ総督よりメダル授与。帰国後、高等学校教員免許(英語)取得。				

## シラバス

科目名	出入国法令		担当者名	金田一 栄子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	海外旅行にあたって必要な出入国法令。諸手続きを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行を取り扱う上で必要な、旅券・査証・空港での出入国手続き、通関などについての知識を法令・実務の面から習得し、業務知識とすることができる。				
授業概要	旅行実務シリーズ5「出入国法令・実務」の教科書を使用して、講義・演習形式で行う。 また、公的な省庁などのホームページから、的確な最新情報を得ることも学んでいく。 後期は、前期に習得した知識をもとに、実際の業務に生かすためのシミュレーションを行う。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション2	
	2	旅券	20	旅行準備	
	3	旅券	21	旅行準備	
	4	旅券	22	プレゼンテーション	
	5	査証	23	日本での出国手続き	
	6	査証	24	日本での出国手続き	
	7	日本の出国手続き	25	プレゼンテーション	
	8	外国での入国・出国手続き	26	外国での出入国手続き	
	9	日本の入国手続き	27	外国での出入国手続き	
	10	動植物検疫、ワシントン条約	28	外国での出入国手続き	
	11	税関手続き	29	プレゼンテーション	
	12	税関手続き	30	外国での出入国手続き	
	13	免税範囲と課税計算	31	外国での出入国手続き	
	14	免税範囲と課税計算	32	プレゼンテーション	
	15	外国人の日本出入国	33	旅行中の安全確保	
	16	問題演習	34	旅行中の安全確保	
	17	問題演習	35	プレゼンテーション	
18	期末テスト	36	まとめ		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期成績表配布	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>50				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				



## シラバス

科目名	アンガーマネジメント		担当者名	瀬戸口 仁	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	怒りを味方につけて、仕事や日常生活を豊かなものにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	怒りを味方にすべく、即効性のあるテクニックを5つ、怒りの体質を変えるテクニックを4つマスターする。				
授業概要	怒りというものはどういうものかを理解し、怒りを味方にする9つのテクニック(習慣)をワークを踏まえて身につける。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	アンガーマネジメントとは	19	スケールテクニック	
	2	6秒とは	20	ブレイクパターン	
	3	三重丸とは	21	ブレイクパターン	
	4	分かれ道とは	22	24時間アクトカーム	
	5	カウントバック	23	24時間アクトカーム	
	6	カウントバック	24	怒りのケーススタディ	
	7	呼吸リラクゼーション	25	怒りのケーススタディ	
	8	呼吸リラクゼーション	26	魔法の言葉	
	9	ストップシンキング	27	魔法の言葉	
	10	ストップシンキング	28	魔法の言葉	
	11	グラウンディング	29	正しいゴール(目標)設定の仕方	
	12	グラウンディング	30	正しいゴール(目標)設定の仕方	
	13	タイムアウト	31	人間関係構築力	
	14	タイムアウト	32	人間関係構築力	
	15	アンガーログ	33	間違った叱り方、正しい叱り方	
	16	アンガーログ	34	間違った叱り方、正しい叱り方	
	17	アンガーログ	35	期末試験	
18	スケールテクニック	36	期末試験		
成 績 割 合	テスト	70%	学習FB方法	授業の終わりに質問を受け付ける	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において十分な教育経験を有し、大学での指導経験も有す。				

## シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	若林 健太郎、濱崎 勝明	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	常識的な知識やルールを身に付け、社会人として恥ずかしくない人材となる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。				
授業概要	就職指導・グループワークを通して、実社会での常識・振る舞い・態度を体得する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究	19	テクノス祭準備/情報共有	
	2	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究	20	テクノス祭準備/情報共有	
	3	就職用提出書類について/企業調査・業界研究	21	テクノス祭準備/情報共有	
	4	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究	22	テクノス祭準備/情報共有	
	5	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究	23	グループワーク	
	6	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究	24	グループワーク	
	7	就職試験(面接)でのポイント・ルール①	25	社会人人心構え	
	8	就職試験(面接)でのポイント・ルール②	26	社会人人心構え	
	9	みどりの村準備(卒後ビジョン)	27	テクノス展準備/情報共有	
	10	みどりの村準備(卒後ビジョン)	28	テクノス展準備/情報共有	
	11	みどりの村準備(卒後ビジョン)	29	テクノス展準備/情報共有	
	12	みどりの村準備(卒後ビジョン)	30	テクノス展準備/情報共有	
	13	グループワーク	31	一年間の振り返り	
	14	グループワーク	32	社会人の心得振り返り	
	15	グループワーク	33	社会人の心得振り返り2	
	16	テクノス祭準備/情報共有	34		
	17	テクノス祭準備/情報共有	35		
18	テクノス祭準備/情報共有	36			
成 績 割 合	テスト	0%	学習FB方法	個人面談およびレポート返却によるFB	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	東京エアトラベル・ホテル専門学校卒業、都内ラグジュアリーホテルの料飲部門での豊富な勤務経験を持つ。				

## シラバス

科目名	英会話Ⅱ		担当者名	CHAN ERNEST、P.Ripley		
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	実習		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。					
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A		
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B		
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C		
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D		
	5	Speaking Test	23	Speaking Test		
	6	Speaking Test	24	Speaking Test		
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A		
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B		
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C		
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D		
	11	Speaking Test	29	Speaking Test		
	12	Speaking Test	30	Speaking Test		
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A		
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B		
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C		
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D		
	17	Speaking Test	35	Speaking Test		
18	Speaking Test	36	Speaking Test			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.					

## シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名	三浦 理恵	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	航空会社の「サービス」を多面的に捉え、一職種に囚われることなく、幅広い視野でエアライン業界を考察する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界の価値を理解する。2.多面的かつ論理的に思考する。3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。6.其他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。				
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介 授業目的の共有	19	発表練習	
	2	世界的基準の格付け 「ワールド・エアライン・スター・レーティング」とは?	20	発表練習	
	3	世界的基準の格付け 「ワールド・エアライン・スター・レーティング」の評価項目 は?	21	発表練習	
	4	最高評価「5スター」を獲得しているエアラインのどこが優 れているの?	22	発表練習	
	5	最高評価「5スター」を獲得しているエアラインのどこが優 れているの?	23	発表練習	
	6	5スター航空会社における、日本と世界各社のサービスの 違いは?	24	発表練習	
	7	5スター航空会社における、日本と世界各社のサービスの 違いは?	25	発表練習	
	8	日本航空と全日本空輸での受賞歴の違いはどこから来 るのか?	26	発表練習	
	9	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	27	発表練習	
	10	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	28	発表練習	
	11	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	29	発表練習	
	12	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	30	発表練習	
	13	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	31	発表練習	
	14	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	32	発表練習	
	15	ギャップを埋め、今後も「5スター」を獲得できるSVCや戦 略を考える	33	発表練習	
	16	発表練習	34	発表練習	
	17	発表練習	35	1年のワークのまとめとしての最終発表	
18	発表練習	36	1年の振り返り(成果と課題の共有)		
成 績 割 合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点 D:59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>50%				
講師プロフィール	新卒で国内航空会社の客室乗務員として入社。 国際線を中心に乗務、勤続25年。 在職中、乗務のみならず地上職(デスクワーク)も経験しマネージメントや育成スキル等幅広い知識を培った。 退職後は他専門学校エアライン科等で非常勤講師やマナー講師としての経験あり。				

シラバス

科目名	ビジネスマナー		担当者名	相川 奏恵	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就活力を身につける</li> <li>■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける</li> <li>■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる</li> </ul>				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	就活・面接・企業研究シート	20	来客応対・名刺・紹介のマナー	
	3	自己分析・リフレーミング	21	バリアフリー①アシスト	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	バリアフリー②ハラスメント	
	5	敬語①	23	ビジネス文書①	
	6	敬語②	24	ビジネス文書②	
	7	敬語③	25	クレーム対応①	
	8	敬語テスト・解説	26	クレーム対応②	
	9	ソーシャルスキル①	27	顧客心理	
	10	ソーシャルスキル②	28	ストローク	
	11	文章上達①	29	知って得する社会のマナー	
	12	文章上達②	30	指示命令の受け方と報連相	
	13	創造力①	31	ビジネス文書①	
	14	創造力②	32	ビジネス文書②	
	15	創造力③	33	上手な仕事の進め方①	
	16	会社の使命・社員の役割	34	上手な仕事の進め方②	
	17	電話応対①	35	段取り力・8つの意識	
18	電話応対②	36	上手な指導の受け方・愛される社員になる		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、各市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA他				

## シラバス

科目名	総合管理者対策Ⅱ		担当者名	金田一 栄子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	総合旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	総合旅行業務取扱管理者試験の合格と同時に、観光業界で業務をするうえで必要な知識を習得する”				
授業概要	各分野の基本事項を確認した後、演習問題で知識のの定着を図る。また過去問、練習問題に数多く取り組んでいく。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	総合旅行業務取扱管理者試験の概要と勉強の仕方	19		
	2	実務 空港・都市コード 時差計算	20		
	3	”OAGの見方 地理演習 【ヨーロッパ】	21		
	4	出入国法令・実務 地理演習 【北米】	22		
	5	旅券まとめ 地理演習 【ヨーロッパ】	23		
	6	出入国法令・実務 地理演習 【北米】	24		
	7	出入国法令・実務 地理演習 【中米】	25		
	8	国際航空約款 地理演習 【南米】	26		
	9	国際航空約款 地理演習 【オセアニア】	27		
	10	国際航空約款 演習 【アジア】	28		
	11	国際航空運賃 地理演習 【アジア】	29		
	12	国際航空運賃 地理演習 【中近東】	30		
	13	海外実務(鉄道、フェリー、ホテル、海外旅行傷害保険) 海外地理総合演習	31		
	14	出入国法令 総合演習	32		
	15	過去問題 練習問題	33		
	16	過去問題 練習問題	34		
	17	過去問題 練習問題	35		
18	過去問題 練習問題	36			
成 績 割 合	テスト	60%	学習FB方法	前期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。				

## シラバス

科目名	海外旅行プランニング		担当者名	出口 寛子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	旅行会社の商品として販売可能なツアーの造成方法を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	町中の旅行代理店で販売可能なツアーを企画しパンフレットを作成、商品発表会と投票を行う。				
授業概要	ツアー企画に必要な基礎知識、デイスティネーション情報の収集を踏まえてツアーを企画する。ロールプレイやディスカッションを通じた気づきを活かし企画内容の精度を高めていく。学生はツアー企画担当者として商品発表会プレゼンを行い投票を行う。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	応用1 実習	
	2	オリエンテーション2	20	応用2 実習	
	3	オリエンテーション3	21	応用3 実習	
	4	基礎1 情報収集 I	22	応用4 ロールプレイとディスカッション	
	5	基礎2 情報収集 I	23	応用5 実習	
	6	基礎3 ロールプレイとディスカッション	24	応用6 実習	
	7	基礎4 課題提出	25	応用7 ロールプレイとディスカッション	
	8	基礎5 情報収集 II	26	応用8 課題提出	
	9	基礎6 情報収集 II	27	応用9 実習	
	10	基礎7 ロールプレイとディスカッション	28	応用10 実習	
	11	基礎8 課題提出	29	応用11 プレゼン	
	12	基礎9 演習	30	応用12 課題提出	
	13	基礎10 演習	31	応用13 商品発表会準備	
	14	基礎11 演習	32	応用14 商品発表会 I	
	15	基礎12 演習	33	応用15 商品発表会 II	
	16	基礎13 ロールプレイとディスカッション	34	確認・まとめ1	
	17	基礎14 課題提出	35	確認・まとめ2	
18	基礎15 応用準備	36	確認・まとめ3		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	前期・後期成績表にて送付
	学習態度・出席率		36%		
	レポート		64%	成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	大学では工芸デザインを専攻。約12年の旅行会社勤務にて営業、ツアー企画、添乗などを経験。資格:美術・工芸一種免許、総合旅行業務取扱管理者等。				

## シラバス

科目名	接遇手話Ⅱ		担当者名	奥山 栄美	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	①聴覚障がいについて理解を深める。 ②手話での基礎的な日常会話を習得し、コミュニケーション力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への対応技術を学ぶ。				
授業概要	聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。日常会話や接遇手話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	基本の復習と確認	19	接遇手話	
	2	基本の復習と確認	20	接遇手話	
	3	基本の復習と確認	21	接遇手話	
	4	基本の復習と確認	22	接遇手話	
	5	日常会話(例文練習)	23	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)	
	6	日常会話(例文練習)	24	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	7	日常会話(例文練習)	25	聴覚障がい者の特性を理解する・先週の感想等の共有	
	8	日常会話(例文練習)	26	後期の復習	
	9	接遇手話	27	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)	
	10	接遇手話	28	時節の手話	
	11	自己紹介の総復習	29	1年間の総復習	
	12	自己紹介の総復習	30	1年間の総復習	
	13	前期の復習	31	学年末試験(表出試験)	
	14	前期の復習	32	学年末試験(読み取り/筆記試験)	
	15	前期末試験(表出試験)	33	試験の返却/解説	
	16	前期末試験(読み取り/筆記試験)	34	1年間のまとめ	
	17	試験の返却/解説(前期の振り返り)	35		
18	前期のまとめ	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO 法人東京都中途失聴。難聴者協会発行)	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~6 9点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議。その他の日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。				



## シラバス

科目名	パソコン実習Ⅱ		担当者名	千葉 輝子	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る)</li> <li>・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表</li> <li>・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける</li> </ul>				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	
	2	ガイダンス	20	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	3	ガイダンス	21	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	4	科目ガイダンス	22	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	5	Power Pointの基本操作/スライドの作成(アウトライン表示)	23	課題(計算、表の装飾)	
	6	スライドの作成 図形描画	24	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	7	スライドの作成 グラフ・SmartArt	25	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	8	スライドの作成 表・画像の挿入	26	表作成課題(IF関数)	
	9	画像の編集(トリミング、彩度、明るさの変更等)・背景の設定(テーマ、背景画像 等)	27	グラフ作成の基本	
	10	発表用原稿、配布資料について、アニメーション・画面切り替え	28	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	11	プレゼン課題(検定試験サンプル問題)	29	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	12	プレゼン小テスト(検定試験サンプル問題)	30	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	13	各自プレゼン発表用資料作成	31	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	14	各自プレゼン発表用資料作成	32	後期期末試験	
	15	各自プレゼン発表用資料作成	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	各自プレゼン発表用資料作成	34	ガイダンス	
	17	各自プレゼン発表用資料作成	35	ガイダンス	
18	前期末試験 プレゼン発表/前期振り返り	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

## シラバス

科目名	アマデウス実習Ⅱ		担当者名	毛利 奈緒	
学 科	観光・ツーリズム科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得とともに国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウスシステム検定(AMADEUS RESERVATION FUNDAMENTALS)」合格を目指す。				
授業概要	「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作を学習後、練習問題を使つて各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識	19	サービスハブの活用法	
	2	各種コード検索① 世界地図	20	旅客氏名(小児・幼児)入力・修正 SSRとは	
	3	各種コード検索② 主要航空会社	21	SSR 各種メール HELPページ	
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス	22	SSR 連絡先 CTCE CTCM	
	5	空席照会(オプション・ショートカット)	23	SSR フリーイベントフライヤープログラム	
	6	空席照会からの予約(ショートセル)	24	SSR シートリクエスト GGエントリー アンシラリーサービス(グラフィックでのサービスカタログ表示)	
	7	直接予約(ロングセル) ステータスコードとは フライトのキャンセル	25	REMARKS	
	8	PNRとは 旅客氏名(大人)入力・修正	26	フライトインフォメーション(直行・乗継便) MCT	
	9	連絡先 発券状況 送信先 完了 NHP	27	ヒストリー アンシラリーサービス(PNRからのサービスカタログ表示 FPK)	
	10	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取り出し	28	後期末試験対策 基礎知識総復習	
	11	PNR作成練習	29	後期末試験	
	12	乗継便の予約・変更 マリードセグメントとは	30	検定対策① 試験返却・解説	
	13	ARNK オープンセグメント	31	検定対策②	
	14	エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流れ	32	検定対策③	
	15	前期末試験対策	33	アマデウスシステム検定(AMADEUS RESERVATION FUNDAMENTALS)	
	16	前期末試験	34	総まとめ	
	17	試験返却・解説 総まとめ	35	総まとめ	
18	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正	36	総まとめ		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期試験実施後。試験返却をもって	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師				